

児童デイサービスすきっぷ神楽Ⅱ

2024年2月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制 整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対してのスペースは確保されている。	基準に沿ったスペースは確保しているが、職員全体で整理整頓を心がけ、限られた空間を有効に使用できる様にしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は満たされている。	配置基準は満たしており、必要な人員は配置できている。運営上必要な人事異動なども踏まえ適正な配置を行っている。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段やトイレに手すりを設置している。	現在通われているお子様に対し、必要な箇所には手すりをつけるなどの対応は行っている。安易なバリアフリー化は、子どものスキル低下に繋がる恐れもある為、必要に応じて、その都度協議を行うが、子どものできるを増やしていくつとでも、現在の環境の中で経験する場を作っていく。
業務 改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			研修やミーティングの中で話し合いを行い改善している。	今後も施設内研修やMTGを通して、職員間での話し合いの場を設け業務の改善につなげるよう心がけているが、目標のイメージを持っていないことが目立つため、定着するよう指導していく。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の想いや意見を把握しより良い支援につなげられるよう話し合いを行っている。	保護者向け評価表の結果を通し事業所内研修を行っている。またその結果を踏まえ、利用者の意向を把握し改善に繋げていく。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			玄関への掲示とホームページで公開している。	今後も玄関への掲示とホームページへの掲載を行い、より良い事業所作りへとつなげていく。
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	重要事項にも記載しているが、第三者の評価していない。	必要性を感じた際は検討していく。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の研修や法人内の研修を行い意識の統一を図っている。	定期的に法人内研修及び事業所内研修を通し、今後もスキルアップの為に職員研修を行っている。
適切な 支援の 提供	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児発管が面談を行いニーズなどの聞き取りを行っている。 ・共通で認識できるよう、毎日のMTGやモニタリング会議等を通して各職員からの情報を集め課題を把握している。	毎日のミーティングの中で各利用児の変化や情報を共有しアセスメントを行い、保護者のニーズや子どもの課題を考え計画を作成していく。アセスメントに対し、できないことばかりが出てきてしまうため、良いところに目を向け成長に気づけるよう指導していく。
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人として統一したアセスメントを使用している。	法人共通のアセスメントシートを活用し、職員全体が共通認識が持てる様今後も取り組んでいく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で立案に携わり、より良いアプローチが行えるように努めている。	個人のアイデアだけではなく、全体で様々な意見をだし、ミーティングを通して職員全員が参画し、子どもが楽しめる活動を模索していく。
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的にMTGにて話し合いの場を持っている。固定しないように工夫している。	様々な体験ができるように活動支援を模索していく。
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇は外出や時間をかけて取り組む活動を取り入れ行っている。	今後も状況に適したプログラムを設定していく。
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもに合わせて、集団活動の中での個別対応を適宜組み合わせ計画を作成している。	個別活動や学習支援は行う予定はないが、今後も集団の中で個別配慮しやすい工夫を行い、お子さま個人の課題に沿った計画をたて、対応していく。
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝と昼にMTGを行っている。	引き続き、朝会や屋会のMTGを通し職員間での打ち合わせを行い情報の共有を行っている。
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			朝や昼のMTGや業務終了後に引継ぎをする時間を設け振り返る時間を今後も大切にしている。	今後も継続していく。
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の翌日にケース記録、業務日誌を作成している。支援計画に沿った内容が薄い。	様々な支援のアプローチについて、個別支援計画を基に記録していく。
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全職員で会議を行っている。	継続して定期的にモニタリングを行い、状況に応じて計画の見直しを行っていく。
⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインに則り支援を行っている。	定期的にガイドラインの読みあわせを行っている。	
関	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が参加し対応している。	今後も施設長及び児発管が参画していく。
	㉑学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時に必要に応じて学校と連絡や情報共有を行っている。学校との面談をほぼ実現できていない。	必要に応じて情報交換を行い連携を図っていく。保護者が情報共有を求める際は提示を行っていく。学校との面談方法を模索していく。
	㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			看護師配置がなく、医療的ケアを必要とするお子様の利用がない。	今後、必要に応じて検討していく。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉒就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			今まで実例がない。	保護者様から依頼があった際は情報の共有を行っていく。
	㉓学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			該当する利用児はいない。	現在該当者はいないが、今後機会があれば保護者の意向に沿って情報を提供していく。
	㉔児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児発管が必要に応じ連携を図り対応している。	必要に応じ専門機関の研修に参加し連携を図っていく。
	㉕放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			スキー支援や野球の試合、外出を通して交流の機会がある。	今後も子ども達が様々な人と関わる機会を作っていく。
	㉖(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			現在参加していないが、要請があれば随時検討していく。
	㉗日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や送迎時、連絡ノートを通して共通理解に努めている。	継続して電話や面談、送迎などを通して共通理解ができるよう努めていく。
	㉘保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者様からの相談に助言やアドバイスをさせていただいている。	保護者様に寄り添い、知識を深めてサポートできる様、研修や指導を重ねていく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や面談時に行われている。	契約時に説明を行っている。
	㉚保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際には助言等するが施設長へ報告し対応して頂いている。	窓口を施設長として、アドバイスや助言を行っていく。
	㉛父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子クッキング、運動会、Tボール紅白戦の応援を開催している。	親子クッキングや運動会を開催し保護者様同士の交流がしやすい環境を作ってるが、今後も、交流の場を計画していきたい。
	㉜子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決委員会を法人で設置している。また、ご相談に対しては、迅速に対応する様努めている。	苦情処理委員会を設置している。苦情が発生した場合は「苦情解決処理手順」に基づいて対応していく。
	㉝定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発信している。	月1回通信を発行して、活動等の情報を発信している。今後もすきっぷでの様子を楽しく伝える場を大切にしている。
	㉞個人情報に十分注意しているか	○			努めて取り組んでいる。同意書も契約をかわし対応している。	今後も研修などを重ね、より一層セキュリティ強化に努めていく。
	㉟障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎や連絡ノートを使用して情報の伝達を行っている。子どもには視覚提示も取り入れ行っている。	送迎の際、活動内容や子どもの様子などを伝えている。重要な詳細については必要に応じて、施設長から連絡ノート、電話連絡等を行っている。今後は今まで以上に全スタッフがご契約者様との関係構築に努めていく。
非 常 時 等 の 対 応	㊱緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員は研修を行い、保護者へは毎年4月に配布している。	変更が出た場合は敏速に情報公開していく。
	㊲非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に3回(火災、地震、水害)を行い、防犯訓練も取り入れている。	避難訓練を年3回火災、地震、水害で行っている。また、防犯訓練も継続して行っていく。
	㊳虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人として、委員会を開催している。また、法人研修を実施している。	研修を重ね、適切な対応が出来るよう継続して取り組んでいく。
	㊴どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約の際に説明していると共に、法人として委員会を開催している。また、法人研修を実施している。	研修を重ね、適切な対応が出来るよう継続して取り組んでいく。
	㊵食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			面談や見学、フェースシートで情報を集約し、活用している。	医師の指示書はないが、保護者様より対応について細かく指示を受けている。また、研修も行いスタッフ全員共通認識している。
	㊶ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有されている。作成しているが類似した内容が多く課題となっている。	事例を検証しながら共有し、職員の意識付けや再発防止に努めていく。また、類似した事故が起きないように具体的な対策をより検討していく。